

教科 (科目)	単元・内容	ICTの活用例	研究協議のまとめ
<p>国語 (古典探究)</p>	<p>「大和物語」 歌論書『俊頼髓脳』との 比較を通して、物語にお ける和歌の効果を考えさ せる。</p>	<p>・ロイロノート</p>	<p>主題について、工夫されていたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの問いに取り組むことで、生徒が自ら本文の内容を読解できる作りになっていた。 ・Jamboardの使用によって、発言しやすい雰囲気づくりがなされた。 ・個→協働→個の流れに沿った授業構成になっていた。 <p>主題について、課題と感じたこと、その課題解決方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問の工夫が必要。本時の目標達成のためには、「違いは何か」をより具体的に問いかける必要があった。 ・古典には歌物語や歌論書といったジャンルがあるということは授業の最初にふれておくとうよかった。 ・一人一台端末を使う際に机の上が窮屈になってしまう。場合によっては二人で一台にするなど、工夫すべき。 <p>授業を見学してヒントになったこと、新たに取り組もう思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Jamboardの使い方、国語の授業における活用方法。 ・問いを中心に据えた解の進め方。
<p>数学 (数学A)</p>	<p>「道順の総数」 同じものを含む順列や和 の法則による数え上げを 利用して、最短の道順の 総数について考察する。</p>	<p>・Google スライド</p>	<p>主題について、工夫されていたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を用いた操作的な活動を通して、題意を満たす例に共通することを言語化させていた。 ・自分の気づきや考えを他者に説明(言語化)することで、その共通点や相違点について考えさせていた。 ・同じものを含む順列(計算)を用いる方法と、和の法則による数え上げの方法の両方に取り組み、求め方の相違点について考えさせていた。 <p>主題について、課題と感じたこと、その課題解決方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習内容である同じものを含む順列を用いることに気づいた生徒がいたが、口頭での説明がやや長く退屈を感じる生徒がいたと感じる。 ・効果的な発問等を用いて、生徒が自ら課題発見できるようにするとよい。 <p>授業を見学してヒントになったこと、新たに取り組もう思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドの見やすさ(矢印の向きと色を対応させるなどの配慮)。 ・問題を考えるうえでの方針をことばで表現させていた点。

教科 (科目)	単元・内容	ICT の活用例	研究協議のまとめ
理科 (物理基礎)	<p>「落体の運動」 モンキーハンティングについて考え、当たるとの条件を発表させ、実際に実験を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Google スライド • ロイロノート 	<p>主題について、工夫されていたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • 発展的な内容である放物投射を体験的に学べるように、実験器具を工夫して作成した。 • 課題について班で予想をたて、実際に確かめるという仮説検証型の実験になっていた。 • ボールをあてるという簡単な題材で、実物を使って確かめられることが、生徒の興味関心を惹くことにつながっていた。 <p>主題について、課題と感じたこと、その課題解決方法</p> <ul style="list-style-type: none"> • 目的・目標を共有し、実験がさらなる探究心につながる工夫を考えること。 • 各班が実験を行っている間の待ち時間に何をさせるかを考えるとよい。各班の結果について考察をする、自分たちの予想を改めるなど。 • 1班8人だと話し合いを聞くだけになってしまう生徒が出てしまうため、班の人数を減らすとよい。時間がかかるなら、同じような予想をたてた班は共同で実験を行うなどの工夫がある。 • 実験器具を見やすくしたい。ボールの色を変える、生徒が見る位置を工夫するなど。 • 「理論上はこうなる」だけでなく「実際にこうなる」ことを演示できるとよい。 <p>授業を見学してヒントになったこと、新たに取組もう思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仮説検証型の実験が出来ている点が良い。学んだことを確かめるだけでなく、実際に仮説をたてて検証することが探究心の育成につながる。 • 実験中の生徒のささいな発言から教員が学べることが多い。そうした発言を次に生かすとよい。
社会 (政経探究)	<p>「財政のしくみ」 グループで来年度の歳出について考え発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Google スプレッドシート 	<p>主題について、工夫されていたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現代の諸課題を解決するために、政府がどのような手立てをしたらよいかについて、財政（歳出）の観点から考えさせた。 • 今年度の歳出項目や金額を提示し、来年度の予算を実際に考えさせることで、財政を身近なものとして捉えさせようとした。 • ICT 機器を生徒に活用させ、作成した資料（スプレッドシート）を使って、班の考えをまとめ、発表する力を身に付けさせようとした。 <p>主題について、課題と感じたこと、その課題解決方法</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1時間ですべての班に発表をさせることができなかった。 • 解決方法①諸課題の優先順位をスムーズに考えさせるために、課題について具体的に考えられる資料などがあればよかった。 • 解決方法②歳出項目などの説明については、事前の授業で説明して、作業の日は、前回の授業の振り返り程度にすると、すべての班が発表できたのではないかと。 • 目標に具体的な手立てが見えないので、目標は具体的にしたほうが良い。 <p>授業を見学してヒントになったこと、新たに取組もう思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • スプレッドシートでグラフを作成し、情報を可視化することでクラス全体で情報を共有できる場所は良かった。

教科 (科目)	単元・内容	ICT の活用例	研究協議のまとめ
英語 (英語コミュニケーションⅢ)	Lesson3 「Organizing to Protect the environment」	・ Google スライド	<p>主題について、工夫されていたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が自分で考える活動が多かったため、主体的な学びになっていた。 ・ 題材がタイムリーなものだったので、生徒の学習意欲を引き出せていた。 ・ 様々な視点から環境保護活動の利点と欠点について考えさせていたため、深い学びに繋がっていた。 ・ 意見文を書かせる前に、生徒にとって身近でわかりやすい例を提示していたので、その後スムーズに意見文を書く活動に入れていた。 ・ 生徒それぞれが考えた意見文をロイロノートに提出し、全体で共有していたので、協働的な学びになっていた。 ・ ワークシートのチャートの作り方が、生徒が取り組みやすいように工夫されていた。 <p>主題について、課題と感じたこと、その課題解決方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個の活動が多めだったため、授業についていけない生徒や指示を理解してない生徒の様子が見られた。解決方法として、グループワークを取り入れ、生徒同士がコミュニケーションを取る場を持つことが挙げられた。 <p>授業を見学してヒントになったこと、新たに組みもう思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒一人ひとりに役割を与えることで、主体的に学習に取り組む様子が見られたので、取り入れていきたい。 ・ ロイロノート（提出箱や共有ノート）を活用し、生徒の考えを深めさせる場をつくっていきたい。
保健体育 (体育)	「バスケットボール」 作戦や状況に応じた仲間と連携した動きを高め、ゲーム展開できるようにする。	・ Kahoot!	<p>主題について、工夫されていたこと</p> <p>主題を理解しやすくするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボードを活用し、生徒にイメージを持たせていた。 ・ 実際に生徒と一緒にデモンストレーションをおこない説明をしていた。 ・ 練習中やゲーム中での目的や主題の声掛けをしていた。 <p>主題について、課題と感じたこと、その課題解決方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動が得意な生徒や運動部に所属している生徒は理解しスムーズに実践していたが、そうでない生徒は理解しきれず目的とずれた動きをしてしまっている生徒がいた。そういった生徒に対してもさらにわかりやすい工夫が必要。 <p>授業を見学してヒントになったこと、新たに組みもう思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パワーボイス等も活用し、全体に情報を周知すること ・ ICT を活用し、生徒が疑問に思ったことや課題の共有をおこなう。

教科 (科目)	単元・内容	ICT の活用例	研究協議のまとめ
情報 (情報 I)	「情報社会と私たち」 「座間事件」を取り上げ ネット社会の危険性と身 を守る術について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Jamboard ・ Google Classroom 	<p>主題について、工夫されていたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS の利用について実際に起きた事件を用い、ケーススタディを通して、生徒同士で問題を発見したり最適な解決策を導き出していた。実践的な問題解決スキルや意思決定など養うことができていたと感じた。 ・ 題材が身近にあった事件なので、興味を持って取り組んでいた。 <p>主題について、課題と感じたこと、その課題解決方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループワークで話し合いが進んでいないグループもあり、全体を見ながら、個々に対応することが課題であると感じた。 <p>授業を見学してヒントになったこと、新たに取り組もう思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラスルームでのワークシートの活用、ワークシートジャムボードの活用（設問によって付箋の色を変えるなど）